

科目名	英語	対象学年・時期	1年 前期
講師	非常勤講師	単位数・時間数	1単位・30時間
授業概要	<p>英語は世界共通言語である。看護の場は多様化しており、外国人が看護の対象となったり外国人医療者と協働することもある。共通言語として英語を用いてコミュニケーションを図ることが必要とされる。</p> <p>また対象が受ける治療を選択し自己決定を促進するためには、英語が頻出する内容の理解に努め、対象に説明をすることもある。</p> <p>看護職は自己研鑽や研究の為、海外の学会参加や、論文を閲覧・作成することがあり、英語に慣れ親しんでおくことが望ましい。英語の基本的な会話の習得をはじめ、様々なツールによるコミュニケーションスキルを身に付けてほしい。</p>		
授業形態	講義		
学習目標	会話表現を中心に実際に英語の基礎を再確認しながら、看護の場で役立つ用語や英語表現を学ぶ。		
学習内容	<p>看護の場を想定し、必要な単語・用語・英語表現、会話を学ぶ。一回の授業で一つのユニットを扱い進めていく。ロールプレイで繰り返し練習し、実際に使えるようになる。言語の本質は音であるから、音をよく聴くと共に各自がしっかり発音しながら表現を覚えて欲しい。</p> <p>授業計画は以下のとおりである。</p> <p>第1回 Unit1(初診受付の流れを学ぶ① 症状を伝える基本の表現を学ぶ)</p> <p>第2回 Unit2(初診受付の流れを学ぶ② 初診登録に必要な表現を学ぶ)</p> <p>第3回 Unit3(初診受付の流れを学ぶ③ 保険に関する表現を学ぶ)</p> <p>第4回 Unit4(患者を案内する 各診療科の名称を学ぶ)</p> <p>第5回 Unit5(患者の症状を聞く 風邪症状の表現を学ぶ)</p> <p>第6回 Unit6(薬の処方について学ぶ 服薬指示の表現を学ぶ)</p> <p>第7回 Unit7(診察の流れを学ぶ アレルギー症状の表現を学ぶ)</p> <p>第8回 Unit8(外科診療の流れを学ぶ 痛みを表す表現を学ぶ)</p> <p>第9回 Unit9(問診の流れを学ぶ 生活習慣を伝える表現を学ぶ)</p> <p>第10回 Unit10(診察前の計測を行う 計測に関する表現を学ぶ)</p> <p>第11回 Unit11(患者に検査をすすめる 精密検査に関する表現を学ぶ)</p> <p>第12回 Unit12(検査結果を説明する 数値を伝える表現を学ぶ)</p> <p>第13回 Unit13(患者に入院をすすめる 健康指導の表現を学ぶ)</p> <p>第14回 Unit14(入院前の説明をおこなう 入院に関する表現を学ぶ)</p> <p>第15回 Unit15(退院後のアドバイスをこなう 健康維持に関する表現を学ぶ)</p> <p>第16回 試験</p>		
使用テキスト	CHECK-UP！ Basic English For Nursing (金星堂)		
事前・事後学修			
評価基準・評価方法	授業参加、小テスト(毎時間)、終講テストの結果を総合して評価する		
備考			